

科目名称：	介護福祉論	
担当者名：	磯貝 サエ子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
介護福祉論は介護に必要な知識・技術・価値・倫理の基礎であるため、学ぶ範囲は幅広い。そこで、介護福祉論Ⅰでは、人間の生活、家庭生活における家族の役割、高齢者、障害者の生活の理解、障害者の生活の困難性や障害者の権利を考える。次に介護福祉の歴史と発展、社会的役割を理解する。その上で介護の対象者や看護など関連領域との連携を学び、介護の具体的な業務内容を理解する。また、諸外国における介護福祉の現状と課題について考える機会とする。介護福祉に必要な対人援助の技法を消化し実践的な学びにつなげる。		
授業の達成目標・到達目標		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる。 2. 介護における介護福祉士の役割と支援の視点が理解できる。 3. 利用者本位のサービスを提供するための他（多）職種協働によるチームアプローチの必要性を理解できる。 4. 自立に向け高齢者・障害者の介護が理解できる。 5. あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を理解する。 6. 人権擁護の視点、職業倫理を身につける。 		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	80		10	10	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 介護福祉士を取り巻く状況：介護の歴史、介護問題の背景	介護の概念や対象について下調べをする	30分
第2回 介護福祉士の役割と機能を支える仕組み①：介護需要・社会福祉士・介護福祉士	介護福祉士の役割と機能を支える仕組み②：介護保険法、その他の法制度	30分
第3回 介護福祉士の役割と機能を支える仕組み②：介護保険法、その他の法制度	介護保険法について下調べをする	30分
第4回 介護福祉士の役割と機能を支える仕組み③：専門職能団体の役割と活動、専門職能団体の日本介護福祉士会	専門職能団体について下調べをする	30分
第5回 介護従事者の倫理①：職業倫理、利用者の人権と介護	介護福祉士の専門性について下調べをする	30分
第6回 介護従事者の倫理②：プライバシーの保護	介護従事者の目指すべき姿勢についてまとめる	30分
第7回 介護を必要とする人の理解①：人間の多様性・複雑性の理解	自身の生活活動についてまとめる	30分
第8回 介護を必要とする人の理解②：人間の生活の場、高齢者の生活と暮らし	日本の暮らしの歴史について調べてくる	45分
第9回 介護を必要とする人の理解③：障害のある人の暮らし、介護を必要とする日の生活環境の理解	障害のある人の暮らしにおける介護の必要性についてまとめる	45分
第10回 自立に向けた介護①：自立の考え方、自立支援の理解	自立と自律の違いについて調べてくる	30分
第11回 自立に向けた介護②：個別ケア、ICFと自立支援	前回の授業をもとに自立と自律についてまとめる	45分
第12回 自立に向けた介護③：リハビリテーション	リハビリテーションの意義と効果について調べてくる	20分
第13回 尊厳を支える介護①：人間の尊厳とは、QOLの考え方	人間の尊厳とは何か調べてくる	30分
第14回 尊厳を支える介護②：ノーマライゼーションの実現、利用者主体の介護	ノーマライゼーションの理念について調べてくる	30分
第15回 まとめ	介護サービス提供における介護者の倫理的課題や利用者本位の支援のあり方にまとめてくる	60分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への参加度10%、小テスト10%

課題に対するフィードバック

必要時コメント記入し、口頭説明を加え返却します。

教科書・参考書

教科書：最新・介護福祉士養成講座3 介護の基本I 中央法規出版
参考書：授業時に適宜紹介する